



吉林动画学院概要

吉林动画学院は2000年6月に創立した私立大学である。現在では、長春市の高新区と双陽区にキャンパスがあり、敷地面積は86.5万平方メートルである。高新区のキャンパス敷地面積は16.5万平方メートルで、校舎面積は23.4万平方メートルである。双陽区のキャンパスは建設中で、計画の面積は60万平方メートルである。教員が1195人で、非常勤講師、外国教師と外国客員教授が約274人である。在学の学生は11911人である。学生の就職率は90%以上に達している。投資の全額は30億元となる。

吉林动画学院は「自尊、自強、創新、創造」という校訓に基づき、開放運営の方針を堅持し、教育と研究と産業の一体化をめざし、国際的視野を持ち、創造力と総合的芸術教養を持つ人材を育てている。

国際交流においては、アメリカ、フランス、日本、韓国など80以上の大学および会社と協力関係を持っている。ニューヨーク・フィルム・アカデミー(New York Film Academy)、フランス GOBELINS 动画学院(GOBELINS, l' école de l' image)、Sheridan Institute of Technology and Advanced Learning(Sheridan College)、ロシア映画大学(All-Russian State University of Cinematography named after S. A. Gerasimov)、韓国釜山大学などの大学と交流協定を結んでいる。これまでに国際アニメーションフォーラムを11回、国際アニメーション展示会を21回開催し、合わせて、10000点以上のアニメーション作品が展示され、30以上の国および地域からの1000人以上の学者、文化参事官が出席なさった。また、第14回広島国際アニメーションフェスティバルで吉林动画学院はネコを埋葬するネズミを見たという作品がグランプリを受けた。



2004年12月、学院は、「国家アニメーション教育研究基地」として国家広電総局に認可され、さらに2005年6月、長影グループ、吉林出版グループと共に「国家アニメーション産業基地」として国家広電総局に認可された。2007年6月に吉林省人民政府の認可により、「吉林アニメ・ゲーム製作産業園」を本学院で設置した。

学院には、アニメ学部、漫画学部、ゲーム学部、デザイン学部、造形学院、広告学部およびメディア学部、演劇学部、文化産業管理学部など九つの学部があり、さらに、アニメーション、絵画、デジタルメディア技術、デジタルメディア芸術、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、環境デザイン、ファッションデザイン、広告学、撮影、アダプト、出演、アナウンサー、演劇映画文学、文化産業管理、マーケティングなどの21個のコースを設けている。

学院は、6.4万平方メートルの延面積を持つ「吉林アニメ・ゲーム製作産業園」をつくるために、3.9億元(約62億円)の投資をした。アニメ・ゲーム開発部、アニメ製作部、アニメ発行部、アニメ研究院、アニメ博物館、アニメ展示館、特種映画映写館、国際アニメ教育交流センター及びアニメ・ゲーム技術部を包括する。

学院は、教育と文化産業の開発をともに発展するという方策を打ち出し、2008年に「吉林禹碩アニメ・ゲーム技術有限公司」を発足した。長春にアニメと新メディアを経営する支店を設け、北京と上海、それぞれネットワークを経営する支店とゲームソフトウェア開発支店を設けている。禹碩アニメ、禹碩ゲーム、禹碩ネットワークおよび禹碩新メディアは、産業化となっている。

主な作品は、アニメーションシリーズの「幸福な町1番」や「長白精霊」、4D映画の「生命の種」や「郷親」、3Dアニメ映画「Frog KingdomI」などがある。「Frog KingdomI」は2013年12月28日全国で公開である。また、3Dゲーム「乾坤オンライン」と「関公伝奇」、携帯電話ゲームなども売り出している。2010年11月に吉林动画学院と吉林禹碩アニメ・ゲーム技術有限公司は国家文化部により「国家文化



吉林动画学院

産業示範基地」と指定されている。

新しいスタートラインに立っている吉林动画学院は、中国芸術を押し広め、中国芸術に関する教育と産業に寄与するために、さらに運営方針を明確にし、改革に力を入れ、国外でも有名な一流の芸術大学を作ろうと全力で取り組んでいる。

